

定期事業者検査時の安全管理の計画

(17/25)

主要工程		△解列 RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料表荷 燃料表荷 起動試験 起動前弁点検 起動試験 △並列 調整運転																
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー															
	復水ピット(RWSP)補給系を含む) (表90-15-1) 空冷式非常用発電装置からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・空冷式非常用発電装置による電源系1系統(モード3、4、5および6)において空冷式非常用発電装置2台、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間において空冷式非常用発電装置1台)動作可能 ・号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)による電源系1系統(他号炉がモード3および4)において号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)2基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)300m ³ および重油タンク(他号炉)320m ³ 、タンクローリーが使用可能。 ・他号炉がモード5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間において号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)1基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)および重油タンク(他号炉)の合計油量297m ³ ※、タンクローリーが使用可能。 ・号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)による電源系1系統(他号炉がモード3および4)において号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)2基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)300m ³ および重油タンク(他号炉)320m ³ 、タンクローリーが使用可能。 ・他号炉がモード5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間において号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)1基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)および重油タンク(他号炉)の合計油量297m ³ ※、タンクローリーが使用可能。 ※燃料油貯蔵タンク(他号炉)と重油タンク(他号炉)の合計油量(燃料油貯蔵タンク(他号炉)1の油量(保有油量)128m ³ を含む。 ・電源車による電源系2系統動作可能	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	第90条 (表90-15-3) 電源車からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・電源車1台×2 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	第90条 (表90-15-4) 蓄電池(安全防護系用)からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・蓄電池(安全防護系用)1組 全防護系用)1組)動作可能	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	第90条 (表90-15-5) 可搬式整流器からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・可搬式整流器1個 ・空冷式非常用発電装置 ・号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号) ・号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号) ・ディーゼル発電機(他号炉) ・燃料油貯蔵タンク(他号炉)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

定期事業者検査時の安全管理の計画

(18/25)

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	燃料装置										V並列				
					R/V開放	燃料取出	1次系ポンプ他点検	R/V組立	RCS保温	起動試験	起動前弁点検	起動試験	調整運転						
RCS水位	第90条 (表90-15-6) 代替所内電気設備からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 代替所内電気設備からの給電系が使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 電源車 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 代替所内電気設備分電盤1個 代替所内電気設備変圧器1個 空冷式非常用発電装置 可搬式整流器 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
		モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンクの油量: 300m³以上(2基分) 重油タンクの油量: 320m³以上(2基分) タンクローリー2台(重大事故等対応設備の連続定格運転に必要な燃料を補給できる容量を有するもの、3号炉および4号炉合計) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
		モード3、4、5および6(原子炉圧力容器内の温度)	<ul style="list-style-type: none"> プラント起動に伴う計器校正、真空ベンチンングおよび原子炉格納容器漏えい率検査時に計器検査のため隔離している場合等は、動作不能とはみなさない。 ※代替パラメータに記載する番号は優先順位であり、代替パラメータが複数あることを示す。 -[]は多様性拡張設備を示し、運転上の制限は適用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
RCS水位	第90条 (表90-16-1) 計装設備	モード3、4、5および6(原子炉圧力容器内の温度)	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンクの油量: 300m³以上(2基分) 重油タンクの油量: 320m³以上(2基分) タンクローリー2台(重大事故等対応設備の連続定格運転に必要な燃料を補給できる容量を有するもの、3号炉および4号炉合計) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
		モード3、4、5および6(原子炉圧力容器内の水位)	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンクの油量: 300m³以上(2基分) 重油タンクの油量: 320m³以上(2基分) タンクローリー2台(重大事故等対応設備の連続定格運転に必要な燃料を補給できる容量を有するもの、3号炉および4号炉合計) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
		モード3、4、5および6(原子炉圧力容器への注水)	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンクの油量: 300m³以上(2基分) 重油タンクの油量: 320m³以上(2基分) タンクローリー2台(重大事故等対応設備の連続定格運転に必要な燃料を補給できる容量を有するもの、3号炉および4号炉合計) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3

定期事業者検査時の安全管理の計画

(19/25)

主要工程		▽分解	RCS降溫	R/V開放	燃料取出	燃料表荷	起動試験	起動前弁点検	▽並列														
		1次系ポンプ他点検	R/V組立	RCS漏えい検査																			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-1	4	5-1	4	5-1	3					
RCS水位		量)	キャビティ満水 RCS満水 ミッドグループ RCS全ブロー																				
			余熱除去流量 ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②加圧器水位 ICH ③原子炉水位 ICH ④格納容器積層アップ水位(広域) ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH ⑥主要ハアローの軸チャネル ICH ⑦燃料取替用水と外水位 ICH ⑧加圧器水位 ICH ⑨原子炉水位 ICH ⑩燃料取替用水と外水位 ICH																			
			・粗取代替器圧注水検算流量 ICH ・戻水流量 ICH ・圧注圧力 ICH ・圧注ノグ水位 ICH ・[AM]用排水検算流量 ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②加圧器水位 ICH ③原子炉水位 ICH ④格納容器積層アップ水位(広域) ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH ⑥加圧器水位 ICH ⑦原子炉水位 ICH ⑧燃料取替用水と外水位 ICH ⑨加圧器水位 ICH ⑩主要ハアローの軸チャネル ICH ⑪冷却材低圧温度(広域) ICH ⑫冷却材圧力 ICH ⑬余熱除去流量 ICH ⑭加圧器水位 ICH ⑮原子炉水位 ICH																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器への注水量)	量)		原子炉格納容器への注水量 ・格納器スプレッド検算流量 ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②戻水と外水位 ICH ③燃料取替用水と外水位 ICH ④燃料取替用水と外水位 ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH ⑥燃料取替用水と外水位 ICH	・左記監視設備																		
			粗取代替器圧注水検算流量 ICH ・高圧注入流量 ICH ・余熱除去流量 ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②格納容器積層アップ水位(広域) ICH ③燃料取替用水と外水位 ICH ④燃料取替用水と外水位 ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH ⑥燃料取替用水と外水位 ICH																			
			・[AM]用排水検算流量 ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②加圧器水位 ICH ③原子炉水位 ICH ④格納容器積層アップ水位(広域) ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH ⑥加圧器水位 ICH ⑦原子炉水位 ICH																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の温度)			原子炉格納容器内の温度 ・格納器内温度 ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②戻水と外水位 ICH ③燃料取替用水と外水位 ICH ④燃料取替用水と外水位 ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH	・左記監視設備																		
			原子炉格納容器内の圧力 ・格納器圧力(広域) ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②戻水と外水位 ICH ③燃料取替用水と外水位 ICH ④燃料取替用水と外水位 ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の圧力)			原子炉格納容器内の圧力 ・格納器圧力(広域) ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②戻水と外水位 ICH ③燃料取替用水と外水位 ICH ④燃料取替用水と外水位 ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH	・左記監視設備																		
			原子炉格納容器内の圧力 ・格納器圧力(広域) ICH	①燃料取替用水と外水位 ICH ②戻水と外水位 ICH ③燃料取替用水と外水位 ICH ④燃料取替用水と外水位 ICH ⑤燃料取替用水と外水位 ICH																			

定期事業者検査時の安全管理の計画

(20/25)

主要工程		▽機列 RCS 機温										燃料取出			燃料装荷			起動試験			▽並列										
		R/V開放										1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏えい検査			調整運転										
RCS 水位	保安規定条文	キャビティ満水 RCS 満水 ミッドレベル RCS 全ブロー																													
	要求モード	要求内容										関連設備																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水位)	<ul style="list-style-type: none"> -AM 用格納容器圧力IC -原子炉格納容器内の水位 -格納容器内層キャップ水位(領域)IC 	<ul style="list-style-type: none"> ②格納容器内温度 IC ①格納容器内温度 IC ①主要バリエータの飽やみIC ②格納容器内層キャップ水位(領域)IC ③原子炉下層キャップ水位IC ④原子炉格納容器水位IC ⑤燃料冷却器水位IC ⑥冷却水水位IC ⑦格納容器スプレッド層水位IC ⑧運転員居住区格納容器水位IC ⑨格納容器内層キャップ水位(領域)IC ⑩燃料冷却器水位IC ⑪冷却水水位IC ⑫格納容器スプレッド層水位IC ⑬運転員居住区格納容器水位IC 										<ul style="list-style-type: none"> -左記監視設備 																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水素濃度)	<ul style="list-style-type: none"> -原子炉格納容器内の水素濃度 -可燃性格納容器水素ガス濃度IC 	<ul style="list-style-type: none"> ①主要バリエータの予備 IC ②燃料冷却器水素濃度 IC ③原子炉格納容器水素濃度 IC 										<ul style="list-style-type: none"> -左記監視設備 																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の放射線量率)	<ul style="list-style-type: none"> -原子炉格納容器内の放射線量率 -格納容器内層キャップ放射線量率IC -燃料冷却器放射線量率IC -格納容器スプレッド層放射線量率IC -燃料冷却器放射線量率IC -運転員居住区放射線量率IC -格納容器内層キャップ放射線量率IC 	<ul style="list-style-type: none"> ①主要バリエータの予備 IC ②燃料冷却器放射線量率 IC ③原子炉格納容器放射線量率 IC ④格納容器内層キャップ放射線量率 IC ⑤燃料冷却器放射線量率 IC ⑥運転員居住区放射線量率 IC ⑦格納容器内層キャップ放射線量率 IC 										<ul style="list-style-type: none"> -左記監視設備 																			
モード3、4、5および6 (未境界の維持または監視)	<ul style="list-style-type: none"> -燃料冷却器放射線量率IC -燃料冷却器放射線量率IC -燃料冷却器放射線量率IC -燃料冷却器放射線量率IC 	<ul style="list-style-type: none"> ①燃料冷却器放射線量率 IC ②燃料冷却器放射線量率 IC ③燃料冷却器放射線量率 IC ④燃料冷却器放射線量率 IC 										<ul style="list-style-type: none"> -左記監視設備 																			
モード3、4、5および6 (最終ヒーティングの確保)	<ul style="list-style-type: none"> -最終ヒーティングの確保 -格納容器圧力(領域)IC 	<ul style="list-style-type: none"> ①主要バリエータの飽やみIC ②格納容器内層キャップ水位(領域)IC ③燃料冷却器水位IC ④冷却水水位IC ⑤格納容器スプレッド層水位IC ⑥運転員居住区格納容器水位IC 										<ul style="list-style-type: none"> -左記監視設備 																			

定期事業者検査時の安全管理の計画

(21/25)

主要工程		▽解列 RCS降温		燃料取出		燃料表荷		起動試験		起動前弁点検		▽並列										
		R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験		調整運転										
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3	
	RCS水位		<p>キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー</p> <p>③熱交換器内圧度 ICH ①主要バランサーの飽和蒸気圧 ICH ②可燃蒸気計測装置(格納容器内圧度) ICH ユニタ入口温度/出口温度(SA)用 ICH H</p> <p>①AM用原子炉補給冷却水サージタンク加圧ライン圧力 ICH ②熱交換器内圧度 ICH ③格納容器圧力(広域) ICH ①主要バランサーの予備 ②熱交換器内圧度 ③格納容器内圧度 ①主要バランサーの飽和蒸気圧または飽和蒸気圧 ICH ②熱交換器内圧度 ICH</p> <p>②1次冷却材低温度(広域) ICH ③1次冷却材高温度(広域) ICH ①主要バランサーの飽和蒸気圧 ICH ②蒸気発生水位(狭域) ICH ③1次冷却材低温度(広域) ICH ④1次冷却材高温度(広域) ICH ①蒸気発生水位(狭域) ICH ②1次冷却材低温度(広域) ICH ③1次冷却材高温度(広域) ICH ④1次冷却材高温度(広域) ICH ①凍結ピストン水位 ICH ②蒸気発生水位(狭域) ICH ③蒸気発生水位(狭域) ICH ④蒸気発生水位(狭域) ICH ⑤蒸気発生水位(狭域) ICH ⑥蒸気発生水位(狭域) ICH ⑦蒸気発生水位(狭域) ICH ⑧蒸気発生水位(狭域) ICH ⑨蒸気発生水位(狭域) ICH ⑩蒸気発生水位(狭域) ICH ⑪蒸気発生水位(狭域) ICH ⑫蒸気発生水位(狭域) ICH ⑬蒸気発生水位(狭域) ICH ⑭蒸気発生水位(狭域) ICH ⑮蒸気発生水位(狭域) ICH ⑯蒸気発生水位(狭域) ICH ⑰蒸気発生水位(狭域) ICH ⑱蒸気発生水位(狭域) ICH ⑲蒸気発生水位(狭域) ICH ⑳蒸気発生水位(狭域) ICH ㉑蒸気発生水位(狭域) ICH ㉒蒸気発生水位(狭域) ICH ㉓蒸気発生水位(狭域) ICH ㉔蒸気発生水位(狭域) ICH ㉕蒸気発生水位(狭域) ICH ㉖蒸気発生水位(狭域) ICH ㉗蒸気発生水位(狭域) ICH ㉘蒸気発生水位(狭域) ICH ㉙蒸気発生水位(狭域) ICH ㉚蒸気発生水位(狭域) ICH ㉛蒸気発生水位(狭域) ICH ㉜蒸気発生水位(狭域) ICH ㉝蒸気発生水位(狭域) ICH ㉞蒸気発生水位(狭域) ICH ㉟蒸気発生水位(狭域) ICH ㊱蒸気発生水位(狭域) ICH ㊲蒸気発生水位(狭域) ICH ㊳蒸気発生水位(狭域) ICH ㊴蒸気発生水位(狭域) ICH ㊵蒸気発生水位(狭域) ICH ㊶蒸気発生水位(狭域) ICH ㊷蒸気発生水位(狭域) ICH ㊸蒸気発生水位(狭域) ICH ㊹蒸気発生水位(狭域) ICH ㊺蒸気発生水位(狭域) ICH ㊻蒸気発生水位(狭域) ICH ㊼蒸気発生水位(狭域) ICH ㊽蒸気発生水位(狭域) ICH ㊾蒸気発生水位(狭域) ICH ㊿蒸気発生水位(狭域) ICH</p>																			
	モード3、4、5および6 (格納容器バイパスの監視)		<p>格納容器バイパスの監視 ①蒸気発生水位(狭域) ICH ②蒸気発生水位(狭域) ICH ③蒸気発生水位(狭域) ICH ④蒸気発生水位(狭域) ICH ⑤蒸気発生水位(狭域) ICH ⑥蒸気発生水位(狭域) ICH ⑦蒸気発生水位(狭域) ICH ⑧蒸気発生水位(狭域) ICH ⑨蒸気発生水位(狭域) ICH ⑩蒸気発生水位(狭域) ICH ⑪蒸気発生水位(狭域) ICH ⑫蒸気発生水位(狭域) ICH ⑬蒸気発生水位(狭域) ICH ⑭蒸気発生水位(狭域) ICH ⑮蒸気発生水位(狭域) ICH ⑯蒸気発生水位(狭域) ICH ⑰蒸気発生水位(狭域) ICH ⑱蒸気発生水位(狭域) ICH ⑲蒸気発生水位(狭域) ICH ⑳蒸気発生水位(狭域) ICH ㉑蒸気発生水位(狭域) ICH ㉒蒸気発生水位(狭域) ICH ㉓蒸気発生水位(狭域) ICH ㉔蒸気発生水位(狭域) ICH ㉕蒸気発生水位(狭域) ICH ㉖蒸気発生水位(狭域) ICH ㉗蒸気発生水位(狭域) ICH ㉘蒸気発生水位(狭域) ICH ㉙蒸気発生水位(狭域) ICH ㉚蒸気発生水位(狭域) ICH ㉛蒸気発生水位(狭域) ICH ㉜蒸気発生水位(狭域) ICH ㉝蒸気発生水位(狭域) ICH ㉞蒸気発生水位(狭域) ICH ㉟蒸気発生水位(狭域) ICH ㊱蒸気発生水位(狭域) ICH ㊲蒸気発生水位(狭域) ICH ㊳蒸気発生水位(狭域) ICH ㊴蒸気発生水位(狭域) ICH ㊵蒸気発生水位(狭域) ICH ㊶蒸気発生水位(狭域) ICH ㊷蒸気発生水位(狭域) ICH ㊸蒸気発生水位(狭域) ICH ㊹蒸気発生水位(狭域) ICH ㊺蒸気発生水位(狭域) ICH ㊻蒸気発生水位(狭域) ICH ㊼蒸気発生水位(狭域) ICH ㊽蒸気発生水位(狭域) ICH ㊾蒸気発生水位(狭域) ICH ㊿蒸気発生水位(狭域) ICH</p>	・左記監視設備																		

定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	燃料取出												燃料装荷	起動試験		調整運転
					▽解列	RCS低温	R/V開放	1次系ポンプ他点検	R/V組立	RCS漏えい検査	起動前弁点検	起動試験								
RCS 水位		モード3、4、5および6 (水源の確保)	<ul style="list-style-type: none"> ・(運転室)主蒸気管二列 ・(検査室がモニタ) ・(原子炉側)逆流量サンプタンク水位 	<ul style="list-style-type: none"> ① 蒸気発生器水位(検察)ICH ② 主蒸気圧力 ICH ③ 次冷却圧力 ICH ④ 加圧器水位 ICH ⑤ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ⑥ 蒸気発生器水位(検察) ICH ⑦ 主蒸気圧力 ICH ⑧ 次冷却圧力 ICH ⑨ 加圧器水位 ICH ⑩ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ⑪ 蒸気発生器水位(検察) ICH ⑫ 主蒸気圧力 ICH ⑬ 次冷却圧力 ICH ⑭ 加圧器水位 ICH ⑮ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ⑯ 蒸気発生器水位(検察) ICH ⑰ 主蒸気圧力 ICH ⑱ 次冷却圧力 ICH ⑲ 加圧器水位 ICH ⑳ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㉑ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㉒ 主蒸気圧力 ICH ㉓ 次冷却圧力 ICH ㉔ 加圧器水位 ICH ㉕ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㉖ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㉗ 主蒸気圧力 ICH ㉘ 次冷却圧力 ICH ㉙ 加圧器水位 ICH ㉚ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㉛ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㉜ 主蒸気圧力 ICH ㉝ 次冷却圧力 ICH ㉞ 加圧器水位 ICH ㉟ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㊱ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㊲ 主蒸気圧力 ICH ㊳ 次冷却圧力 ICH ㊴ 加圧器水位 ICH ㊵ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㊶ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㊷ 主蒸気圧力 ICH ㊸ 次冷却圧力 ICH ㊹ 加圧器水位 ICH ㊺ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㊻ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㊼ 主蒸気圧力 ICH ㊽ 次冷却圧力 ICH ㊾ 加圧器水位 ICH ㊿ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH 	<ul style="list-style-type: none"> ① 蒸気発生器水位(検察) ICH ② 主蒸気圧力 ICH ③ 次冷却圧力 ICH ④ 加圧器水位 ICH ⑤ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ⑥ 蒸気発生器水位(検察) ICH ⑦ 主蒸気圧力 ICH ⑧ 次冷却圧力 ICH ⑨ 加圧器水位 ICH ⑩ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ⑪ 蒸気発生器水位(検察) ICH ⑫ 主蒸気圧力 ICH ⑬ 次冷却圧力 ICH ⑭ 加圧器水位 ICH ⑮ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ⑯ 蒸気発生器水位(検察) ICH ⑰ 主蒸気圧力 ICH ⑱ 次冷却圧力 ICH ⑲ 加圧器水位 ICH ⑳ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㉑ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㉒ 主蒸気圧力 ICH ㉓ 次冷却圧力 ICH ㉔ 加圧器水位 ICH ㉕ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㉖ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㉗ 主蒸気圧力 ICH ㉘ 次冷却圧力 ICH ㉙ 加圧器水位 ICH ㉚ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㉛ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㉜ 主蒸気圧力 ICH ㉝ 次冷却圧力 ICH ㉞ 加圧器水位 ICH ㉟ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㊱ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㊲ 主蒸気圧力 ICH ㊳ 次冷却圧力 ICH ㊴ 加圧器水位 ICH ㊵ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㊶ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㊷ 主蒸気圧力 ICH ㊸ 次冷却圧力 ICH ㊹ 加圧器水位 ICH ㊺ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ㊻ 蒸気発生器水位(検察) ICH ㊼ 主蒸気圧力 ICH ㊽ 次冷却圧力 ICH ㊾ 加圧器水位 ICH ㊿ 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH 	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
			<ul style="list-style-type: none"> ・(水源の確保) ・燃料取器排水七小水位 ICH ・燻水七小水位 ICH ・貯蔵タンク水位 ICH ・温度計測用: 12個 ・圧力、水位および流量計測用: 28個 	<ul style="list-style-type: none"> ① 主要パワーマの能率ヤンセル ICH ② 格納容器循環サンプ水位(血検) ICH ③ 主要パワーマの能率ヤンセル ICH ④ 蒸気発生器循環給水量 ICH ⑤ 格納容器スプレイ格納量 ICH ⑥ 重要パワーマの能率ヤンセル ICH ⑦ 出力降降中性子率 ICH ⑧ 中間降降中性子率 ICH ⑨ 中性子降降中性子率 ICH 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-16-2) 可搬型計測器	モード3、4、5および6	温度計測用: 12個	温度計測用: 12個	可搬型計測器	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
第90条 (表90-16-3) 記録	モード3、4、5および6	可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用): 3個	可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用): 3個	可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用) ・安全パラメータ表示システム(SPDS) 1系列(3号炉および4号炉の合計) ・SPDS表示装置: 2台(3号炉および4号炉の合計)	可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用) ・安全パラメータ表示システム(SPDS) 1系列(3号炉および4号炉の合計) ・SPDS表示装置	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

定期事業者検査時の安全管理の計画

(23/25)

主要工程		燃料装置										燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前点検		▽並列						
RCS水位		R/V開放										1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験		調整運転						
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	4	5-1	4	3		
第90条 (表90-17-1) 中央制御室	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可能 (ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中) 可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室非常用循環ファン1台 中央制御室空調ファン1台 中央制御室循環ファン1台 中央制御室非常用循環ファン1台 可搬型照明(SA)8個(3号炉および4号炉の合計所要数) 酸素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 二酸化炭素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 可搬型非常用酸素装置 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可能 (ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中) 可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が可能 	<ul style="list-style-type: none"> アニュラス空気浄化ファン アニュラス空気浄化フィルタユニット 窒素ポンプ(代替制御用空気供給弁) 可搬型空気圧縮機(代替制御用空気供給弁) 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 放射性物質の濃度および放射線量の測定 可搬式モニタリングポスト: 17個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備6個を含む) 電離箱サーベイメータ: 3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) (可搬型放射線計測装置) 可搬式ダストサンプラ: 3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) 汚染サーベイメータ: 3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) Zns シンチレーションサーベイメータ: 2個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) NaI シンチレーションサーベイメータ: 2個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) 小型船舶: 2台(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) (風向、風速その他の気象条件の測定) 可搬式気象観測装置: 1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 	<ul style="list-style-type: none"> [放射性物質の濃度および放射線量の測定] 可搬式モニタリングポスト 電離箱サーベイメータ 可搬式ダストサンプラ 汚染サーベイメータ NaIシンチレーションサーベイメータ Zns シンチレーションサーベイメータ NaI シンチレーションサーベイメータ 汚染サーベイメータ 小型船舶 [風向、風速その他の気象条件の測定] 可搬式気象観測装置 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

定期事業者検査時の安全管理の計画

(24/25)

主要工程		▽分解 RCS降温											▽並列							
		R/V開放		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前点検		起動試験		調整運転						
		R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		RCS漏えい検査		RCS漏えい検査		調整運転						
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
RCS水位	第90条 (表90-19-1) 緊急時対策所 代替電源設備からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ヒートに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 電源車(緊急時対策所用):2台動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 電源車(緊急時対策所用)1台×2(緊急時対策所あたりの合計数) 空冷式非常用発電装置(3号炉および4号炉のいずれか1系統要求) 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		モード3、4、5、6および使用済燃料ヒートに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所空気浄化系1系統(緊急時対策所可搬型空気浄化ファン2台および緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット2基)動作可能 空気供給装置の所要数(600本:緊急時対策所および待機所)あたりの合計が使用可能 酸素濃度計(2個) (緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計) 二酸化炭素濃度計(2個) (緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計)の所要数が動作可能 緊急時対策所内可搬型エリアモニタ(2個) (緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計)、緊急時対策所外可搬型エリアモニタ(1個)および可搬型モニタリングポストの所要数が動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所可搬型空気浄化ファン 緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット 空気供給装置 酸素濃度計 二酸化炭素濃度計 緊急時対策所内可搬型エリアモニタ 緊急時対策所外可搬型エリアモニタ 可搬型モニタリングポスト 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
第90条 (表90-20-1) 通信連絡	モード3、4、5、6および使用済燃料ヒートに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 衛星電話(固定):6台(3号炉および4号炉の合計所要数) 衛星電話(携帯):9台(3号炉および4号炉の合計所要数) 衛星電話(可搬):1台(3号炉および4号炉の合計所要数) トランシーバー:29台(3号炉および4号炉の合計所要数) 携行型通話装置:24台(3号炉および4号炉の合計所要数) インターフォン:4台(3号炉および4号炉の合計所要数) 	<ul style="list-style-type: none"> 衛星電話(固定) 衛星電話(携帯) 衛星電話(可搬) トランシーバー 携行型通話装置 インターフォン 安全ハブメータ表示システム(SPDS) 安全ハブメータ伝送システム 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		燃料供給										調整運転						
		燃料取出		燃料供給		燃料供給		燃料供給		燃料供給		調整運転						
		R/V開放		R/V開放		R/V開放		R/V開放		R/V開放		調整運転						
RCS水位		RCS水位		RCS水位		RCS水位		RCS水位		RCS水位		調整運転						
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-1	4	5-1	4	5-1	3
			<p>キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー</p>															
			<p>安全ハラムータ表示システム (SPDS:1 系列 (3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれか)により有線系、無線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1</p> <p>安全ハラムータ伝送システム:1 系列 (3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれか)により有線系、無線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1</p> <p>・SPDS表示装置:2台 (3号炉および4号炉の合計所要数)※1</p> <p>(※1 サーパーバイザ等による一時的なデータ伝送停止は、運転上の制限を満足してはならないとはみなさない。また、所要の確認対象パラメータを記録し、連絡する要員を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時 (他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。) は、運転上の制限を満足してはならないとはみなさない。)</p> <p>・緊急時衛星通報システム:1台 (3号炉および4号炉の合計所要数)</p> <p>・統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (TV会議システム、IP電話、IP-FAX):1 系列 (3号炉および4号炉の合計所要数、TV会議システム、IP電話、IP-FAXのいずれか)により通信可能であること (衛星携帯電話設備等の通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時 (他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴う停止を含む。) は、運転上の制限を満足してはならないとはみなさない。)</p> <p>・空冷式非常用発電装置</p> <p>・燃料油貯蔵タンク</p> <p>・電源車 (緊急時対策用)</p>	<p>関連設備</p> <p>・SPDS表示装置</p> <p>・緊急時衛星通報システム</p> <p>・統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (TV会議システム、IP電話、IP-FAX)</p> <p>・空冷式非常用発電装置</p> <p>・燃料油貯蔵タンク</p> <p>・タンクローリー</p> <p>・電源車 (緊急時対策用)</p>														
	第90条 (表90-21-1) アクセサリの確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<p>・ブルドーザ (2台) (3号炉および4号炉の合計所要数、予備機1台を含む)の所要数が動作可能</p>	ブルドーザ														

X	機能要求あり
△	機能要求あり(条件付)
	機能要求なし

モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタットホルトの状態
3	1次冷却材温度 177°C以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 93°C超、177°C未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 93°C以下 (RCS 満水)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 93°C以下 (RCS 非満水)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度 93°C以下 (キセチリ 低水位)	1本以上が締められている
6-2	1次冷却材温度 93°C以下 (キセチリ 高水位)	1本以上が締められている (全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際には、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。